

にいはま 環境かわら版

2021年4月
創刊号
環境保全課
電話 65-1512

今月から、環境かわら版をスタートします。世界各地で起こる異常気象、毎年のように繰り返される大規模災害・・・、皆さんには、平成30年の西日本豪雨災害が記憶に新しいところではないでしょうか？（新居浜市の16年災害を強烈に覚えている方も、たくさんいらっしゃると思います。）これらはみんな地球温暖化が原因と言われていますが、皆さんは、何か対策を行っていますか？どんな取り組みをすればよいのか知っていますか？このかわら版を通じて、今地球に起こっている危機を共有し、市民の皆さん一人一人が、温暖化対策に取り組むきっかけになればとの思いから創刊しました。ぜひ最後まで御覧ください。

新居浜市地球温暖化対策地域計画 &

エコアクションプランにいはま改定！

令和3年3月、新居浜市では、温室効果ガスの排出削減を総合的かつ計画的に進めるため、2つの計画を改定しましたので、ご紹介します。

○新居浜市地球温暖化対策地域計画（第2次区域施策編）

市民、事業者、行政が一体となって地球温暖化対策に取り組み、市内全域から排出される温室効果ガスの削減を目的とした計画です。

計画期間・・・2021年度から2030年度（10年間）

削減目標・・・2030年度までに2013年度比で35.8%削減

※2050年度までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す。

○エコアクションプランにいはま4（新居浜市地球温暖化対策率先行動計画）

市が実施する事務事業から排出される温室効果ガスの削減を目的に、市自らが率先して、地球温暖化対策に取り組むための計画です。

計画期間・・・2021年度から2030年度（10年間）

削減目標・・・2030年度までに2013年度比で29.4%削減

詳細は、環境保全課のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。また、かわら版でも今後くわしく紹介していきますので、お楽しみに！

Let's study 地球温暖化

Vol. 1

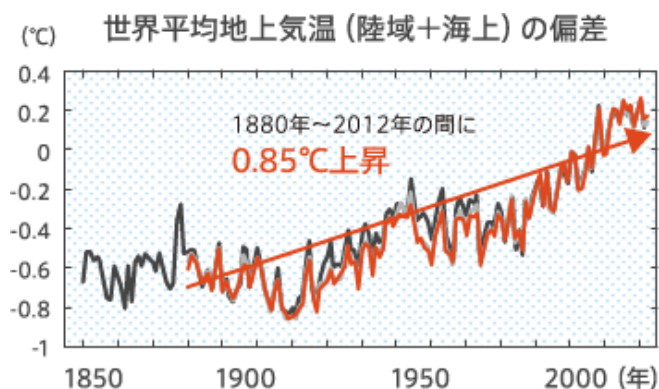
地球温暖化の現状と原因

地球温暖化の主な原因は、大気中の二酸化炭素やメタン等の温室効果ガスとされており、私たちが、石油等の化石エネルギーを燃焼させ、大量の温室効果ガスを排出し続けることによって過度な温暖化が進むと、人類や生態系にとって深刻な影響が出ると言われています。

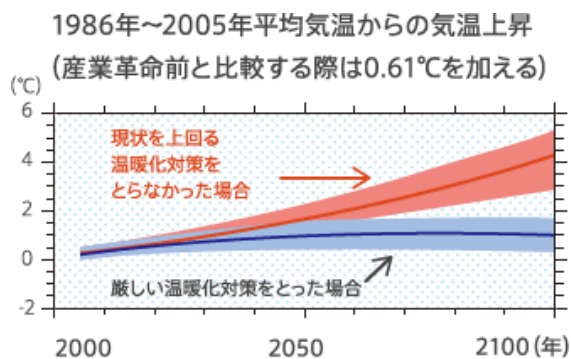
1880年から2012年の間に地球の平均気温は0.85℃上昇しており、このままの状態が続けば、21世紀末には、今よりも最大で4.8℃上昇する可能性があります。

次号では、気温上昇によって、どのような影響が出るのか、ご紹介していきます。

●平均気温の過去からの状況(左)と将来予測(右)



出典: IPCC第5次評価報告書 統合報告書
政策決定者向け要約 図SPM.1(a)より環境省作成



出典: IPCC第5次評価報告書 統合報告書
図SPM.6 (a) より環境省作成

2081~2100年の平均 2.6~4.8℃上昇 0.3~1.7℃上昇

【編集後記】

いかがでしたでしょうか？ これからは月1回のペースで、毎号10日頃に発行できればと考えています。地球温暖化対策への取り組みは、行政だけの力では限界があります。このかわら版を通じて、環境保全課の取り組みを知っていただくとともに、市民や事業者の皆さんにもできる取り組みをご紹介していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(K)